

第 30 回記念式典

“日本臨床微生物学会 30 年の思い, 30 年への期待”

2月1日(金) 16:00~18:00

第2・3会場(ヒルトン東京お台場 1F ペガサス A・B)

総合司会: 舘田 一博(東邦大学医学部微生物・感染症学講座)

第 1 部 日本臨床微生物学会は何を変えたか:あの時の思いをもう一度

日本臨床微生物学会の設立と今後の展望

司会: 西山 宏幸(日本大学医学部附属板橋病院臨床検査部)

演者: 菅野 治重(公益財団法人鹿島病院感染症診療支援センター)

認定臨床微生物検査技師制度の発足

司会: 奥住 捷子(獨協医科大学感染制御センター)

演者: 熊坂 一成(上尾中央総合病院臨床検査科/感染制御室)

学会の足跡:臨床微生物検査技師成長のみなもととして 30 年

司会: 戸塚 恭一(特定医療法人大坪会北多摩病院)

演者: 小栗 豊子(東京医療保健大学大学院)

学会の創設:私が果たした役割と歩み,そしてこれからへの期待

司会: 田中 美智男(京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学講座)

演者: 山中 喜代治(SRL/前・KKR 大手前病院)

第 2 部 これからの日本臨床微生物学会:学際的連携と標準化

1. 日本臨床検査医学会

日本臨床微生物学会への期待

司会: 賀来 満夫(東北大学大学院医学系研究科感染制御・検査診断学分野)

演者: 矢富 裕(東京大学大学院医学系研究科臨床病態検査医学)

2. 日本臨床検査自動化学会

微生物検査の未来と自動化

司会: 長沢 光章(国際医療福祉大学成田保健医療学部医学検査学科)

演者: 康 東天(九州大学大学院医学研究院臨床検査医学)

3. 日本臨床標準協議会

日本臨床微生物学会は臨床微生物検査の標準化・精度管理の中心的役割を果たしている

司会: 三嶋 廣繁(愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学)

演者: 高木 康(日本臨床検査標準協議会/昭和大学教育推進室)

第 3 部 ビア・パーティー for 30th Anniversary

2月1日(金) 18:10~19:00

第1会場(ヒルトン東京お台場 1F ペガサス C)

第30回記念シンポジウム

世界が注目する革新的技術と次世代診断法

2月1日(金) 14:00~15:50

第2・3会場(ヒルトン東京お台場 1F ペガサス A・B)

司会: 舘田 一博(東邦大学医学部微生物・感染症学講座)

西山 宏幸(日本大学医学部附属板橋病院臨床検査部)

1. 半導体製造技術とバイオテクノロジーの融合による多項目同時・高感度検出技術の診断分野への応用～ π コード™テクノロジーの紹介
坂井 健太郎
デンカ株式会社ライフィノベーション研究所
2. GeneSoC: 超高速核酸増幅技術による微生物遺伝子検査のパラダイムシフトの可能性
岩浪 哲
杏林製薬株式会社診断事業部
3. 感染症遺伝子検査がより身近な時代へ—POCT用遺伝子検査機器のご紹介—
砂山 智子
アリーアメディカル株式会社感染症領域マーケティング部
4. 臨床症状別アプローチがもたらす感染症診療の未来
平山 純一
ビオメリュー・ジャパン株式会社マーケティング部
5. 遺伝子検査を身近にする「カネカ核酸クロマトシステム」
直原 啓明
株式会社カネカ Medical Devices Solutions Vehicle 事業統括グループ
6. サンドイッチハイブリダイゼーションを用いた核酸クロマトグラフィー法
杉本 典彦
扶桑薬品工業株式会社研究開発センターバイオリサーチ
7. 新しいPOCT 遺伝子検査システム Smart Gene
長野 隆志
株式会社ミズホメディー
8. LAMP法を用いた全自動小型遺伝子検査システム
米川 俊広
栄研化学株式会社生物化学第2研究所
9. マラリア原虫等感染赤血球の迅速検出～フローサイトメトリー法の応用による新たな検査価値の提供～
浜口 佳子
シスメックス株式会社学術情報部アプリケーションサポートグループ
10. リボソームタンパク質 L7/L12 を検出する感染症診断—*Legionella pneumophila* への応用—
濱口 雄太
旭化成ファーマ株式会社診断薬製品部

特別講演 1

β -Lactamases : Past, Present and Future

2月2日(土) 13:00~13:50

第1会場(ヒルトン東京お台場 1F ペガサスC)

司会:石井 良和(東邦大学医学部微生物・感染症学講座)

演者:Karen Bush (Indiana University Bloomington, USA)

特別講演 2

次世代シーケンサーの臨床微生物検査への応用

2月2日(土) 13:00~13:50

第3会場(ヒルトン東京お台場 1F ペガサスA)

司会:三澤 成毅(順天堂大学医学部附属順天堂医院臨床検査部)

演者:飯田 哲也(大阪大学微生物病研究所)

基調講演 1

病院総合診療医が求める微生物検査 ―症例より―

2月2日(土) 14:00~14:50

第1会場(ヒルトン東京お台場 1F ペガサスC)

司会:河野 茂(長崎大学)

演者:林 純(原土井病院九州総合診療センター)

基調講演 2

地域感染症サーベイランスから見えてくる真実

2月2日(土) 14:00~14:50

第2会場(ヒルトン東京お台場 1F ペガサスB)

司会:一山 智(滋賀県立総合病院)

演者:朝野 和典(大阪大学医学部附属病院)

基調講演 3

熱帯感染症の疫学と検査

2月2日(土) 14:00~14:50

第3会場(ヒルトン東京お台場 1F ペガサスA)

司会:大西 健児(荏原病院感染症内科)

演者:狩野 繁之(国立研究開発法人国立国際医療研究センター研究所熱帯医学・マラリア研究部)

共催:アリーアメディカル株式会社

基調講演 4

最新多剤耐性菌動向 ―今、世界で何が起きているのか―

2月3日(日) 13:00~13:50

第1会場(ヒルトン東京お台場 1F ペガサスC)

司会:大毛 宏喜(広島大学病院感染症科)

演者:荒川 宜親(名古屋大学大学院医学系研究科分子病原細菌学)

基調講演 5

真菌感染症の発症病態:感染・炎症・アレルギーの視点から

2月3日(日) 13:00~13:50

第2会場(ヒルトン東京お台場 1F ペガサスB)

司会:二木 芳人(昭和大学医学部内科学講座臨床感染症学部門)

演者:川上 和義(東北大学大学院医学系研究科感染分子病態解析学分野/東北大学大学院医学系研究科感染制御インテリジェンスネットワーク寄付講座)

基調講演 6

死の病エイズからコントロール可能な慢性疾患,そしてエイズ無き次の世代へ

2月3日(日) 13:00~13:50

第3会場(ヒルトン東京お台場 1F ペガサスA)

司会:清田 浩(東京慈恵会医科大学葛飾医療センター泌尿器科)

演者:岡 慎一(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

日韓合同シンポジウム

NEVER Stop Evolution : Global Diversity in β -lactamase in Asia and the World

2月2日(土) 10:20~12:00

第1会場(ヒルトン東京お台場 1F ペガサスC)

Moderators : Tetsuya Matsumoto (International University of Health and Welfare)
Young Uh (Yonsei University Wonju College of Medicine)

1. **The CTX-M β -lactamase pandemic and global dissemination of *Escherichia coli* ST131 clone**

Yasufumi Matsumura

Department of Clinical Laboratory Medicine, Kyoto University Graduate School of Medicine

2. **Emergence of new metallo- β -lactamase and spread of ESBL-producers in Japan**

Junichi Wachino

Department of Bacteriology Nagoya University Graduate School of Medicine

3. **Detection of extended-spectrum β -lactamases, plasmid AmpC β -lactamases (PABs) and carbapenemases**

Yeon-Joon Park

Department of Laboratory Medicine, Seoul St. Mary's Hospital, the Catholic University of Korea, Seoul, Korea

4. **Class C beta-lactamases with expanded-spectrum hydrolytic activities to carbapenems**

Eun-Jeong Yoon

Yonsei University

Commentators : Karen Bush (Indiana University)

Yoshikazu Ishii (Toho University)

賢人・達人・鉄人セミナー

賢人セミナー 1

IEと血液培養検査：ピットフォールとパールを中心に

2月2日（土） 15：00～15：50

第7会場（ヒルトン東京お台場 1F シリウス）

司会：竹村 弘（聖マリアンナ医科大学微生物学教室）

演者：光武 耕太郎（埼玉医科大学国際医療センター感染症科・感染制御科）

特別発言：岡田 淳（神戸常盤大学保健科学部）

賢人セミナー 2

「臨床」が求める「臨床」に応える「臨床」微生物検査

2月2日（土） 15：00～15：50

第8会場（ヒルトン東京お台場 1F オリオンB）

司会：岡崎 充宏（東京工科大学医療保健学部臨床検査学科）

演者：大楠 清文（東京医科大学微生物学分野）

賢人セミナー 3

微生物検査の国際化基準を考える

2月2日（土） 15：00～15：50

第9会場（ヒルトン東京お台場 1F オリオンA）

司会：草野 展周（岡山大学病院感染症内科）

演者：宮地 勇人（東海大学医学部基盤診療学系臨床検査学）

特別発言：熊坂 一成（医療法人社団愛友会上尾中央総合病院臨床検査科）

達人セミナー 1

小児感染症の特徴と検査

2月2日（土） 16：00～16：50

第7会場（ヒルトン東京お台場 1F シリウス）

司会：齋藤 昭彦（新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野）

演者：岩田 敏（国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院感染症部）

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

達人セミナー 2

嫌気性菌感染症検査のピットフォール

2月2日（土） 16：00～16：50

第8会場（ヒルトン東京お台場 1F オリオンB）

司会：那須 勝（医療法人社団恵愛会大分中村病院総合臨床研究センター）

演者：田中 香お里（岐阜大学研究推進・社会連携機構科学研究基盤センター嫌気性菌研究分野／
岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科）

特別発言：国広 誠子（元山口県立総合医療センター）

共催：アステラス製薬株式会社

達人セミナー 3

グラム染色の奥義を極める

2月2日(土) 16:00~16:50

第9会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオン A)

司会:村上 日奈子(東邦大学医療センター大森病院臨床検査部)

演者:永田 邦昭(公立玉名中央病院診療技術部臨床検査科)

特別発言:小栗 豊子(東京医療保健大学大学院医療保健学研究科)

鉄人セミナー 1

市中型呼吸器感染症の主たる原因細菌において進行する遺伝子変異

2月2日(土) 17:00~17:50

第7会場(ヒルトン東京お台場 1F シリウス)

司会:門田 淳一(大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座)

演者:生方 公子(慶應義塾大学医学部感染症学教室)

特別発言:木村 幸司(名古屋大学大学院医学系研究科)

鉄人セミナー 2

淋菌感染症の疫学・病原性と検査法

2月2日(土) 17:00~17:50

第8会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオン B)

司会:金光 敬二(福島県立医科大学感染制御学講座)

演者:大西 真(国立感染症研究所細菌第一部)

特別発言:荒川 創一(三田市民病院)

鉄人セミナー 3

臨床微生物研究の面白さを語る

2月2日(土) 17:00~17:50

第9会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオン A)

司会:渡邊 邦友(木沢記念病院)

演者:三嶋 廣繁(愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学)

教育講演 1

バイオフィルムが創りだす不思議な世界

2月2日(土) 8:30~9:00

第8会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンB)

司会: 神谷 茂(杏林大学保健学部)

演者: 泉福 英信(国立感染症研究所細菌第一部)

教育講演 2

JANIS データの賢い使い方

2月2日(土) 8:30~9:00

第9会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンA)

司会: 吉田 敦(東京女子医科大学感染症科)

演者: 川上 小夜子(国立感染症研究所薬剤耐性研究センター)

教育講演 3

分かりやすいMRSA 講座: 疫学・病原性から検査まで

2月2日(土) 9:10~9:40

第8会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンB)

司会: 一幡 良利(聖マリアンナ医科大学微生物学)

演者: 山口 哲央(東邦大学医学部微生物・感染症学講座)

教育講演 4

細菌の分類・命名最新情報

2月2日(土) 9:10~9:40

第9会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンA)

司会: 満田 年宏(東京女子医科大学感染制御科)

演者: 河村 好章(愛知学院大学薬学部微生物学講座)

教育講演 5

MALDI-TOF MS の基本と応用

2月2日(土) 9:50~10:20

第8会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンB)

司会: 渡 智久(旭川医科大学微生物学講座)

演者: 服部 拓哉(名古屋第一赤十字病院検査部)

教育講演 6

CPE・CRE 感染症を科学する

2月2日(土) 9:50~10:20

第9会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンA)

司会: 宮本 仁志(愛媛大学医学部附属病院検査部細菌室)

演者: 土井 洋平(藤田医科大学医学部微生物学講座・感染症科/ピッツバーグ大学医学部感染症内科)

教育講演 7

次世代シーケンスの基本と微生物検査への応用

2月2日(土) 10:30~11:00

第8会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンB)

司会: 斧 康雄(帝京大学微生物学講座)

演者: 青木 弘太郎(東邦大学医学部微生物・感染症学講座)

教育講演 8

ゲノムから読み解く微生物検査とサーベイランス

2月2日(土) 10:30~11:00

第9会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンA)

司会: 渡辺 哲(千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野)

演者: 嵯峨 知生(秋田大学大学院医学系研究科総合診療・検査診断学)

教育講演 9

微生物検査室のASPへの関わり

2月2日(土) 11:10~11:40

第8会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンB)

司会: 清祐 麻紀子(九州大学病院検査部)

演者: 上野 民生(大分大学医学部附属病院検査部)

教育講演 10

初心者のためのマイクロバイーム解析

2月2日(土) 11:10~11:40

第9会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンA)

司会: 坂本 春生(東海大学医学部附属八王子病院口腔外科)

演者: 福井 悠人(東邦大学医学部微生物・感染症学講座)

教育講演 11

増加する梅毒と求められる対応

2月3日(日) 8:30~9:00

第8会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンB)

司会: 松田 淳一(長崎大学医学部・歯学部附属病院検査部)

演者: 荒川 創一(三田市民病院)

教育講演 12

感染対策と細菌検査のコラボレーション

2月3日(日) 8:30~9:00

第9会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンA)

司会: 菊池 賢(東京女子医科大学感染症科)

演者: 中澤 靖(東京慈恵会医科大学附属病院感染対策部)

教育講演 13

肺炎診療に求められる微生物検査 —ガイドラインの視点から—

2月3日(日) 9:10~9:40

第8会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンB)

司会:三笠 桂一(奈良県立医科大学感染症センター)

演者:迎 寛(長崎大学病院呼吸器内科(第二内科))

教育講演 14

フォローファイバーモデル:耐性・バイオフィルム・抗菌薬効果を繋ぐ新技術

2月3日(日) 9:10~9:40

第9会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンA)

司会:金子 幸弘(大阪市立大学大学院医学研究科細菌学)

演者:濱田 将風(東邦大学医学部微生物・感染症学講座)

教育講演 15

変貌する肝炎ウイルス感染症:性感染症の1つとして

2月3日(日) 9:50~10:20

第8会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンB)

司会:西條 政幸(国立感染症研究所ウイルス第1部)

演者:四柳 宏(東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野)

教育講演 16

トコジラミの脅威:ムシをするとトリ返しのつかないことに!

2月3日(日) 9:50~10:20

第9会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンA)

司会:宮良 高維(神戸大学医学部附属病院感染制御部)

演者:金井 信一郎(信州大学医学部附属病院感染制御室)

教育講演 17

徹底検証:ワクチンに関する誤解と真実

2月3日(日) 10:30~11:00

第8会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンB)

司会:尾内 一信(川崎医科大学医学部小児科学講座)

演者:森内 浩幸(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児科学)

教育講演 18

臨床写真(Clinical Picture)を撮ろう

2月3日(日) 10:30~11:00

第9会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンA)

司会:洪江 寧(横浜市立みなと赤十字病院感染症科・感染管理室)

演者:忽那 賢志(国立国際医療研究センター国際感染症センター/総合感染症科)

教育講演 19

注目されるパレコウイルス A 感染症 —診断とこれからの課題—

2月3日(日) 11:10~11:40

第8会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンB)

司会: 宮下 修行(川崎医科大学総合内科学1)

演者: 齋藤 昭彦(新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野)

教育講演 20

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の疫学と新しい治療戦略

2月3日(日) 11:10~11:40

第9会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンA)

司会: 竹末 芳生(兵庫医科大学感染制御学)

演者: 安川 正貴(愛媛大学プロテオサイエンスセンター免疫制御学部門)

共催: 富士フイルム富山化学株式会社

教育講演 21

第30回記念グラム染色アトラスの概要と使い方

2月3日(日) 14:00~14:30

第8会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンB)

司会: 大花 昇(福島県立医科大学臨床検査医学講座)

演者: 佐々木 雅一(東邦大学医療センター大森病院臨床検査部)

教育講演 22

Candida auris 発見の物語

2月3日(日) 14:00~14:30

第9会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンA)

司会: 亀井 克彦(千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野)

演者: 榎村 浩一(帝京大学大学院医学研究科医真菌学)

共催: 大日本住友製薬株式会社

教育講演 23

開業医が求める微生物検査“遺伝子検査, クロマトグラフィ, それとも・・・”

2月3日(日) 14:40~15:10

第8会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンB)

司会: 田中 美智男(京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学講座)

演者: 中浜 力(中浜医院)

教育講演 24

髄膜炎菌感染症「持ち込まれる危険と適性検査」

2月3日(日) 14:40~15:10

第9会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンA)

司会: 村上 忍(愛媛大学医学部附属病院診療支援部臨床検査技術部門)

演者: 高橋 英之(国立感染症研究所細菌第一部)

教育講演 25

血液培養：Unknown unknowns の視点に立った検査

2月3日（日） 15：20～15：50

第8会場（ヒルトン東京お台場 1F オリオンB）

司会：山口 育男（豊橋市民病院中央臨床検査室）

演者：青木 洋介（佐賀大学医学部国際医療学講座臨床感染症学分野）

教育講演 26

微生物検査技師としてのプライド：医師が集う“グラム染色道場”

2月3日（日） 15：20～15：50

第9会場（ヒルトン東京お台場 1F オリオンA）

司会：笠原 敬（奈良県立医科大学附属病院感染症センター）

演者：山本 剛（神戸市立医療センター中央市民病院臨床検査技術部）

シンポジウム 1

蔓延する性感染症への対策と検査

2月2日(土) 8:30~10:10

第1会場(ヒルトン東京お台場 1F ペガサスC)

司会: 小林 寅喆(東邦大学)

高橋 聡(札幌医科大学)

1. クラミジア・トラコモティス感染症への対策と検査

高橋 聡

札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座

2. 梅毒の検査・治療における留意点

吉澤 定子

東邦大学医学部臨床研究支援センター

3. 淋菌感染症

安田 満

岐阜大学医学部附属病院生体支援センター／岐阜大学研究推進・社会連携機構微生物
遺伝資源保存センター

4. HIV 感染症への対策と検査

吉田 正樹

東京慈恵会医科大学感染制御科

シンポジウム 2

ICT・ASTの一員としての微生物検査室：求められる、応えられる技師と医師

2月2日(土) 8:30~10:10

第2会場(ヒルトン東京お台場 1F ペガサスB)

司会: 森屋 恭爾(東京大学医学部大学院医学系研究科感染制御学／感染症内科)

上原 由紀(順天堂大学大学院医学研究科感染制御科学／総合診療科)

1. 東京モデル

佐藤 智明

東京大学医学部附属病院検査部

2. 札幌モデル

高橋 俊司

市立札幌病院検査部

3. 九州モデル：ICT・AST活動をふまえた微生物検査室の現状と課題

清祐 麻紀子

九州大学病院検査部

4. 京都モデル

長尾 美紀

京都大学医学部附属病院検査部・感染制御部

特別発言: 矢内 充

赤心堂総合健診クリニック

シンポジウム 3

AMR ワンヘルス・シンポジウム：環境・食肉から野生動物まで

2月2日（土） 8：30～10：10

第3会場（ヒルトン東京お台場 1F ペガサス A）

司会：賀来 満夫（東北大学）

富田 治芳（群馬大学）

1. 家畜・ペット・環境に使用される抗菌薬と耐性菌

田村 豊

酪農学園大学動物薬教育研究センター

2. 国際機関の取り組み

釘田 博文

OIE 国際獣疫事務局アジア太平洋地域事務所

3. 食肉の汚染状況

橋本 信一郎

株式会社ウェルファムフーズ霧島産業動物診療所

4. 野生動物に分布する薬剤耐性の現状と課題

浅井 鉄夫

岐阜大学大学院連合獣医学研究科

シンポジウム 4

“スペインかぜ” から 101 年：インフルエンザの歴史・疫学・病態

2月2日（土） 8：30～10：10

第4会場（ヒルトン東京お台場 1F ジュピター）

司会：西 功（大阪大学）

小林 治（杏林大学）

1. 歴史的背景

岡部 信彦

川崎市健康安全研究所

2. ウイルス学的特徴と予防接種

多屋 馨子

国立感染症研究所感染症疫学センター

3. インフルエンザ 世界的な視点と疫学

加藤 康幸

国際医療福祉大学医学部感染症学

4. 発症病態と重症化機序

関 雅文

東北医科薬科大学医学部感染症内科・感染制御部

シンポジウム 5

真菌感染症の検査：培養から抗原検出・遺伝子診断まで（日本医真菌学会共催シンポジウム）

2月2日（土） 8：30～10：10

第5会場（ヒルトン東京お台場 1F アポロン B）

司会：宮崎 義継（国立感染症研究所真菌部）

瀧谷 和俊（東邦大学医学部病院病理学講座）

1. アスペルギルス症の検査と診断～最近の話題を含めて～

渡辺 哲

千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野

2. ムーコル症のトピックス

掛屋 弘

大阪市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学

3. 侵襲性カンジダ症の検査

吉田 耕一郎

近畿大学医学部附属病院安全管理部感染対策室

4. クリプトコックス

宮崎 泰可

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学／長崎大学病院呼吸器内科

特別発言：山口 英世

帝京大学医真菌研究センター

シンポジウム 6

微生物検査の大失敗と大成功：共有したい経験

2月2日（土） 8：30～10：10

第6会場（ヒルトン東京お台場 1F アポロン A）

司会：黒川 正美（独立行政法人地域医療機能推進機構東京新宿メディカルセンター臨床検査科）

松永 直久（帝京大学医学部附属病院感染制御部）

起炎菌の菌種同定及び薬剤感受性検査に難渋した脳膿瘍の1例

米谷 正太

杏林大学医学部附属病院臨床検査部

司会：赤松 紀彦（長崎大学病院検査部）

山田 康一（大阪市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学）

A 群溶連菌迅速診断検査（大失敗）とリステリア感染症（大成功）

杵渕 貴洋

社会福祉法人北海道社会事業協会富良野病院臨床検査科

シンポジウム 7

非結核性抗酸菌症

2月2日（土） 8：30～10：10

第7会場（ヒルトン東京お台場 1F シリウス）

司会：菊地 利明（新潟大学大学院医歯学総合研究科呼吸器・感染症内科学分野）

長谷川 直樹（慶應義塾大学医学部感染制御センター）

1. 非結核性抗酸菌症の疫学，日本と世界の比較 呼吸器感染症を中心に

森本 耕三

公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター

2. 培養・同定の注意点

青野 昭男

公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部細菌科

3. 非結核性抗酸菌症の臨床的特徴

中川 拓

独立行政法人国立病院機構東名古屋病院呼吸器内科・臨床研究部／独立行政法人国立病院機構東名古屋病院微生物免疫研究室

4. 非結核性抗酸菌症の特徴と微生物検査 遺伝子検査法の進歩

猪狩 英俊

千葉大学医学部附属病院感染制御部

シンポジウム 8

救急領域で求められる感染症検査（日本救急医学会合同シンポジウム）

2月2日（土） 10：20～12：00

第2会場（ヒルトン東京お台場 1F ペガサス B）

司会：前崎 繁文（埼玉医科大学）

高橋 孝（北里大学）

1. 救急集中治療領域で求められる感染症検査

志馬 伸朗

広島大学大学院医歯薬保健学研究科救急集中治療医学

2. 救急領域における炎症バイオマーカーの意義

佐々木 淳一

慶應義塾大学医学部救急医学

3. 救急領域における臨床検査の役割

大路 剛

神戸大学医学部大学院微生物感染症学講座感染治療学分野／神戸大学都市安全研究センター

4. 血液培養検査のコツとその解釈

大城 健哉

那覇市立病院医療技術部検査室

シンポジウム 9

上気道感染症の検査と治療方針：基本はアモキシシリン、応用は？

2月2日（土） 10：20～12：00

第3会場（ヒルトン東京お台場 1F ペガサス A）

司会：保富 宗城（和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

柳原 克紀（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野）

1. 咽頭炎の原因菌

中村 茂樹

国立感染症研究所真菌部／薬剤耐性研究センター

2. 咽頭炎の迅速検査

石和田 稔彦

千葉大学真菌医学研究センター感染症制御分野

3. 抗菌薬療法の考え方

柳原 克紀

長崎大学大学院病態解析・診断学／長崎大学病院検査部

4. 見逃してはいけない合併症

小野 大輔

東邦大学医学部微生物・感染症学講座

特別発言：岩田 敏

国立がん研究センター中央病院感染症部

シンポジウム 10

“スペイン風邪” から 101 年：インフルエンザの診断・治療・予防

2月2日（土） 10：20～12：00

第4会場（ヒルトン東京お台場 1F ジュピター）

司会：米山 彰子（虎の門病院）

藤田 崇宏（北海道がんセンター）

1. 診断法をめぐる新しい展開

舟橋 恵二

JA 愛知厚生連江南厚生病院臨床検査技術科

2. インフルエンザの治療薬と使い分け

川名 明彦

防衛医科大学校感染症・呼吸器内科

3. ワクチン効果

山本 和子

長崎大学病院呼吸器内科／長崎大学病院感染制御教育センター

4. 感染対策の基本と応用

大野 秀明

埼玉医科大学総合医療センター感染症科・感染制御科

シンポジウム 11

寄生虫症の動向と検査を取り巻く状況

2月2日（土） 10：20～12：00

第5会場（ヒルトン東京お台場 1F アポロンB）

司会：春木 宏介（獨協医科大学埼玉医療センター）

中村（内山） ふくみ（東京都保健医療公社荏原病院・感染症内科）

1. 日本における寄生虫症の動向と免疫診断について

丸山 治彦

宮崎大学医学部

2. 原虫症の検査と最近の話題

前田 卓哉

埼玉医科大学微生物学

3. アニサキスおよび裂頭条虫の同定とアニサキスによる食中毒

鈴木 淳

東京都健康安全研究センター微生物部

4. 糞便検査の重要性と問題点

山本 徳栄

元埼玉県衛生研究所

特別発言：狩野 繁之

国立研究開発法人国立国際医療研究センター研究所熱帯医学・マラリア研究部

シンポジウム 12

技師と医師の連携：微生物検査“医師”を探せ

2月2日（土） 10：20～12：00

第6会場（ヒルトン東京お台場 1F アポロンA）

司会：細川 直登（亀田総合病院感染症科・臨床検査科）

大塚 喜人（亀田総合病院臨床検査部）

1. 私たちの取り組み“奈良”

笠原 敬

奈良県立医科大学感染症センター

2. 私たちの取り組み“富山”：アクティブ・コンサルテーション

山本 善裕

富山大学附属病院感染症科

3. 私たちの取り組み“佐賀”

濱田 洋平

佐賀大学医学部附属病院感染制御部

4. 私たちの取り組み“埼玉”

岡 秀昭

埼玉医科大学総合医療センター総合診療内科・感染症科

特別発言：木下 承皓

森ノ宮医療大学保健医療学部臨床検査学科

シンポジウム 13

結核の現状と新しい検査法・治療の進歩

2月2日（土） 10：20～12：00

第7会場（ヒルトン東京お台場 1F シリウス）

司会：川上 小夜子（国立感染症研究所薬剤耐性研究センター）

御手洗 聡（結核予防会結核研究所抗酸菌部）

1. 日本・世界の疫学

小嶋 由香

川崎市健康安全研究所

2. 結核診断法の進歩

吉田 志緒美

NHO 近畿中央呼吸器センター臨床研究センター感染症研究部

3. 銀増幅イムノクロマト法を用いた高感度尿中抗原による結核迅速診断の可能性

片田 順一

富士フイルム株式会社 R&D 統括本部医薬品・ヘルスケア研究所

4. 新規治療薬

佐々木 結花

公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター呼吸器内科

特別発言：渡辺 彰

東北文化学園大学医療福祉学部抗感染症薬開発研究部門

シンポジウム 14

耐性菌シンポジウム A：疫学から見えてくる真実

2月3日（日） 8：30～10：10

第1会場（ヒルトン東京お台場 1F ペガサス C）

司会：村上 正巳（群馬大学大学院医学系研究科臨床検査医学）

西 順一郎（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科微生物学分野）

1. 細菌分離状況の疫学解析から見えてくるもの—地域医療圏を中心に—
萱場 広之
弘前大学大学院医学研究科臨床検査医学講座／弘前大学医学部附属病院検査部
2. 疫学からみえてくるもの
村谷 哲郎
株式会社キューリン検査部／ひびき臨床微生物研究会／ひびき AMR 研究会
3. 地域サーベイランス
堀井 俊伸
浜松医科大学医学部
4. 疫学から見えてくる真実
柳沢 英二
株式会社マイクロスカイラボ

シンポジウム 15

不思議なミクロの世界—目からウロコの微生物学講座—（日本細菌学会会員シンポジウム）

2月3日（日） 8：30～10：10

第2会場（ヒルトン東京お台場 1F ペガサス B）

司会：松本 哲哉（国際医療福祉大学医学部感染症学講座，東京医科大学微生物学分野）

大原 直也（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科口腔微生物学分野）

1. 抗酸菌
大原 直也
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科口腔微生物学分野
2. 肺炎球菌
木村 聡一郎
東邦大学医学部微生物・感染症学講座
3. レジオネラ
前川 純子
国立感染症研究所細菌第一部
4. ピロリ菌
横田 伸一
札幌医科大学医学部微生物学講座

シンポジウム 16

微生物検査に見られる自動化の方向性と将来展望（臨床微生物迅速診断研究会との合同企画）

2月3日（日） 8：30～10：10

第3会場（ヒルトン東京お台場 1F ペガサス A）

司会：柳原 克紀（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野）

飯沼 由嗣（金沢医科大学臨床感染症学講座）

1. FilmArray
遠藤 史郎
国際医療福祉大学附属塩谷病院感染制御部

2. BD-MAX

森永 芳智

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学

3. 自動多項目遺伝子検査装置 Verigene システム及び専用試薬による感染症診療への貢献

鈴木 広道

筑波メディカルセンター病院感染症内科・臨床検査医学科

4. GeneXpert[®]導入の臨床的意義と課題

山岸 由佳

愛知医科大学病院感染症科／愛知医科大学病院感染制御部

シンポジウム 17

今からでも遅くない！論文の書き方セミナー

2月3日（日） 8：30～10：10

第4会場（ヒルトン東京お台場 1F ジュピター）

司会：國島 広之（聖マリアンナ医科大学感染症学講座）

長野 則之（信州大学医学部保健学科病因・病態検査学領域）

1. 原著論文を中心として

大楠 清文

東京医科大学微生物学分野

2. 例えば「症例報告」を執筆するとして

舟橋 恵二

JA 愛知厚生連江南厚生病院臨床検査技術科

シンポジウム 18

Case-Based Research Oriented Seminar (CABROS)

2月3日（日） 8：30～10：10

第5会場（ヒルトン東京お台場 1F アポロンB）

司会：三嶋 廣繁（愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学）

小松 方（天理医療大学医療学部）

右側腹部皮下膿瘍で受診した4歳女児

織田 錬太郎

東京ベイ・浦安市川医療センター感染症内科

解説：小松 方

天理医療大学医療学部

司会：荒岡 秀樹（虎の門病院臨床感染症部・臨床感染症科）

早川 敏（藤田医科大学病院臨床検査部採血・採尿センター）

蜂窩織炎を繰り返す57歳男性

菊池 航紀

亀田総合病院感染症科

解説：宮嶋 恵美子

虎の門病院臨床感染症部

シンポジウム 19

ニューモシスチス症の疫学・診断・治療の現状と課題

2月3日(日) 8:30~10:10

第6会場(ヒルトン東京お台場 1F アポロン A)

司会: 榎村 浩一(帝京大学大学院医学研究科医真菌学)

大塚 喜人(医療法人鉄蕉会亀田総合病院臨床検査部)

1. *Pneumocystis jirovecii* の微生物学的特徴

松村 康史

京都大学医学部附属病院検査部・感染制御部

2. 疫学と医療関連感染

後藤 憲彦

名古屋第二赤十字病院腎臓病総合医療センター移植内科

3. 当院における *Pneumocystis pneumonia* 診断の取り組み—院内導入した遺伝子検査の運用—

木場 由美子

広島大学病院診療支援部感染症検査部門/広島大学病院検査部

4. 治療の現状と課題

菊池 嘉

国立研究開発法人国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

シンポジウム 20

今求められる CPE/CRE 対策と実践

2月3日(日) 8:30~10:10

第7会場(ヒルトン東京お台場 1F シリウス)

司会: 柴山 恵吾(国立感染症研究所細菌第二部)

板羽 秀之(広島国際大学保健医療学部)

1. 再考 CRE/CPE の定義と届出基準

中村 敦

名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学

2. スクリーニング法

佐々木 雅一

東邦大学医療センター大森病院臨床検査部

3. 治療

高田 徹

福岡大学病院感染制御部

4. 感染対策

泉川 公一

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野/長崎大学病院感染制御教育センター

シンポジウム 21

耐性菌シンポジウム B：耐性メカニズムにみる細菌の進化

2月3日（日） 10：20～12：00

第1会場（ヒルトン東京お台場 1F ペガサス C）

司会：菅井 基行（国立感染症研究所薬剤耐性研究センター）

原田 壮平（藤田医科大学医学部感染症科）

1. 病原微生物の耐性機序と耐性化

嵯峨 知生

秋田大学大学院医学系研究科総合診療・検査診断学

2. β -ラクタム薬耐性菌の耐性獲得機構

中野 竜一

奈良県立医科大学微生物感染症学講座

3. プラスミド系統ネットワーク解析による *bla*_{CTX-M-8} 遺伝子拡散様式の検討

鈴木 匡弘

藤田医科大学医学部

4. 多剤耐性大腸菌 ST131 クローンの耐性メカニズムとプラスミドの進化

松村 康史

京都大学医学部附属病院検査部・感染制御部

シンポジウム 22

深海から宇宙まで：極地で観察される微生物世界

2月3日（日） 10：20～12：00

第2会場（ヒルトン東京お台場 1F ペガサス B）

司会：木暮 一啓（東京大学大気海洋研究所）

鈴木 聡（愛媛大学沿岸環境科学研究センター）

1. 深海環境から微生物生態系の歴史を考える

山本 啓之

海洋研究開発機構

2. 南極から

伊村 智

情報・システム研究機構国立極地研究所

3. Bacterial 16S rRNA gene profiling by portable DNA sequencer from shower water, shower head, bathtub inlet in Japan

丸山 史人

京都大学大学院医学研究科

4. 宇宙から

榎村 浩一

帝京大学大学院医学研究科医真菌学

特別発言：太田 美智男

元名古屋大学

シンポジウム 23

Interferon- γ Release Assays の基本と応用

2月3日(日) 10:20~12:00

第3会場(ヒルトン東京お台場 1F ペガサス A)

司会: 猪狩 英俊(千葉大学医学部附属病院感染制御部)

露崎 みづ枝(公益財団法人ちば県民保健予防財団)

1. IGRA の原理と応用

永井 英明

国立病院機構東京病院呼吸器センター

2. T-スポット法, クオンティフェロン法の特徴と注意点

原田 登之

一般社団法人免疫診断研究所

3. IGRA 検査法における新展開

長谷川 直樹

慶應義塾大学医学部感染制御センター

共催: オックスフォード・イムノテック株式会社/株式会社キアゲン

シンポジウム 24

微生物検査を薬剤耐性グラム陰性菌対策に活かすには(日本環境感染学会合同シンポジウム)

2月3日(日) 10:20~12:00

第4会場(ヒルトン東京お台場 1F ジュピター)

司会: 柳原 克紀(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野)

長沢 光章(国際医療福祉大学大学院保健医療学専攻臨床検査学分野)

1. 主治医との連携面での工夫

大石 貴幸

済生会横浜市東部病院感染管理対策室

2. AST の一員としての工夫

高山 和郎

東京大学医学部附属病院薬剤部

3. 薬剤耐性グラム陰性菌の日常検査の現状とその活用

森永 芳智

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学

4. 薬剤耐性グラム陰性桿菌のアウトブレイク時における検査の活用

山岸 由佳

愛知医科大学病院感染症科/愛知医科大学病院感染制御部

シンポジウム 25

医師を感激させた微生物検査 (Vol. 4)

2月3日(日) 10:20~12:00

第5会場(ヒルトン東京お台場 1F アポロン B)

司会: 山本 剛(神戸市立医療センター中央市民病院臨床検査技術部)

加藤 英明(横浜市立大学血液・免疫・感染症内科)

「予想外の検査所見」からの「予測」が功を奏した意識障害の患者の一例

演者: 田中 洋輔(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院臨床検査部)

栗栖 美由希(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院救命救急センター)

司会：佐々木 雅一（東邦大学医療センター大森病院臨床検査部）
根井 貴仁（日本医科大学付属病院医療安全管理部感染制御室）

一過性の意識障害と右半身麻痺を呈した 70 代男性

演者：山本 剛（神戸市立医療センター中央市民病院臨床検査技術部）
高原 佳央里（神戸市立西神戸医療センター神経内科）

特別発言：犬塚 和久（JA 愛知厚生連医療事業部医務課）
阿部 美知子（元北里大学医療衛生学部）

シンポジウム 26

HIV 感染症患者における微生物検査の注意点

2月3日（日） 10：20～12：00

第6会場（ヒルトン東京お台場 1F アポロンA）

司会：堀野 哲也（東京慈恵会医科大学附属柏病院感染制御部／感染対策室）
鯉淵 智彦（東京大学医科学研究所付属病院感染免疫内科）

1. トキソプラズマ症

保科 斉生
東京慈恵会医科大学感染症科

2. CMV 感染症

安達 英輔
東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

3. HIV 感染症診療における抗酸菌検査の注意点

品川 雅明
札幌医科大学附属病院検査部

4. ニューモシスチス症

服部 拓哉
名古屋第一赤十字病院検査部

特別発言：HIV 感染症患者診療初期における体験から
伊藤 章
元横浜市立大学福浦病院臨床検査部

シンポジウム 27

Clostridioides difficile 感染症の疫学・診断・治療—CDI ガイドラインを含めて

2月3日（日） 10：20～12：00

第7会場（ヒルトン東京お台場 1F シリウス）

司会：國島 広之（聖マリアンナ医科大学感染症学講座）
森口 美琴（熊本労災病院 ICT）

1. 疫学

時松 一成
昭和大学医学部内科学講座臨床感染症学部門

2. 病態

森 伸晃
国立病院機構東京医療センター総合内科

3. 細菌学的検査診断法

豊川 真弘
福島県立医科大学新医療系学部設置準備室

4. 治療と再発対策

大毛 宏喜
広島大学病院感染症科

特別発言：那須 勝

医療法人社団恵愛会大分中村病院総合臨床研究センター

シンポジウム 28

耐性菌シンポジウム C：臨床的インパクトに繋がる微生物検査法

2月3日（日） 14：00～15：40

第1会場（ヒルトン東京お台場 1F ペガサス C）

司会：諏訪部 章（岩手医科大学医学部臨床検査医学講座）

中村 竜也（京都橘大学健康科学部臨床検査学科）

1. 抗原検出法

園部 一成

東京医科歯科大学医学部附属病院

2. 遺伝子診断法

早川 佳代子

国立国際医療研究センター

3. 迅速薬剤感受性検査の向かう先は～現状と限界～

荻原 真二

山梨大学医学部附属病院検査部／山梨大学医学部附属病院感染制御部

4. 培養検査における工夫

川畑 大輔

東京医科大学茨城医療センター中央検査部

共催：ピオメリユー・ジャパン株式会社

シンポジウム 29

AMR 対策サーベイランス：“誰が、何を、どのように”

2月3日（日） 14：00～15：40

第2会場（ヒルトン東京お台場 1F ペガサス B）

司会：山本 善裕（富山大学）

大曲 貴夫（国立国際医療研究センター病院）

1. 血液培養検査を例に

平松 和史

大分大学医学部医療安全管理医学講座

2. 耐性菌分離率を例に

明田 幸宏

大阪大学医学部附属病院感染制御部／大阪大学大学院医学系研究科感染制御学講座／
大阪大学微生物病研究所

3. 抗菌薬使用量を例に

前田 真之

昭和大学薬学部臨床薬学講座感染制御薬学部門

4. 消毒の使用方法を例に

塚田 真弓

東邦大学医療センター大森病院

特別発言：黒川 幸徳

川崎医療短期大学臨床検査科

シンポジウム 30

ショーケース！30分の壁を破る革新的次世代診断法

2月3日（日） 14：00～15：40

第3会場（ヒルトン東京お台場 1F ペガサス A）

司会：八木 哲也（名古屋大学大学院医学系研究科臨床感染統御学分野）

賀来 敬仁（長崎大学病院検査部）

1. 新たなレジオネラ抗原キットの開発と L7/L12 抗体技術の可能性
伊藤 浩
旭化成ファーマ株式会社診断薬製品部
2. Molecular Testing for Influenza at Point-of-Care
Norman Moore
Abbott Rapid Diagnostics, Scientific Affairs
3. フローサイトメトリーによる迅速検査法の開発～マラリア及び尿中細菌検査への応用～
糸瀬 祐司
シスメックス株式会社
4. 感染症の多項目同時検査を可能とする超高速リアルタイム PCR システムの開発
永井 秀典
産業技術総合研究所バイオメディカル研究部門／産業技術総合研究所先端フォトニクス・バイオセンシングオープンイノベーションラボラトリ

シンポジウム 31

三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会報告

2月3日（日） 14：00～15：40

第4会場（ヒルトン東京お台場 1F ジュピター）

司会：佐藤 智明（東京大学医学部附属病院検査部）

松本 哲哉（国際医療福祉大学医学部感染症学講座）

第1部：活動報告

1. 2015年 複雑性尿路感染症
安田 満
三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス実務委員会／岐阜大学医学部附属病院生体支援センター／岐阜大学研究推進・社会連携機構微生物遺伝資源保存センター
2. 2016年 尿道炎（淋菌）
安田 満
三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス実務委員会／岐阜大学医学部附属病院生体支援センター／岐阜大学研究推進・社会連携機構微生物遺伝資源保存センター
3. 2016年 呼吸器感染症
柳原 克紀
三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス実務委員会呼吸器感染症担当／長崎大学病院検査部

第2部：三学会合同事業 10周年特別企画

1. 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランスのこれまでの実績
渡辺 彰
三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス実務委員会前委員長／東北文化学園大学医療福祉学部抗感染症薬開発研究部門
2. 現在の三学会合同抗菌薬感受性サーベイランスの現状と課題
松本 哲哉
国際医療福祉大学医学部感染症学講座／東京医科大学微生物学分野

3. 重要性が増すサーベイランス事業—日本臨床微生物学会，日本感染症学会理事長の立場から—

舘田 一博

東邦大学医学部微生物・感染症学講座

4. 今後のサーベイランス活動に期待すること—日本化学療法学会理事長の立場から—

清田 浩

公益社団法人日本化学療法学会理事長／東京慈恵会医科大学葛飾医療センター泌尿器科

第3部：総合討論

シンポジウム 32

検査技師と薬剤師の連携：AMR 対策のキープレイヤーとして

2月3日（日） 14：00～15：40

第5会場（ヒルトン東京お台場 1F アポロン B）

司会：高山 和郎（東京大学医学部附属病院薬剤部）

静野 健一（千葉市立海浜病院臨床検査科）

1. 私たちの連携 “杏林”

西 圭史

杏林大学医学部附属病院医療安全管理部感染対策室

2. 慶應義塾大学病院の ICT/AST チームにおける検査技師と薬剤師の連携

池谷 修

慶應義塾大学病院感染制御部

3. 私たちの連携 “札幌”

和田 直樹

札幌徳洲会病院臨床検査室

4. 私たちの連携 “石川”

新川 晶子

石川県立中央病院医療技術部検査室

シンポジウム 33

持ち込みウイルス感染対策の基本と応用：麻疹，ノロウイルス，RS ウイルス，インフルエンザ

2月3日（日） 14：00～15：40

第6会場（ヒルトン東京お台場 1F アポロン A）

司会：森兼 啓太（山形大学）

村上 啓雄（岐阜大学）

1. 麻疹は違う・間違う，だからこそチームでプロアクティブに対応する

笠井 正志

兵庫県立こども病院感染症内科

2. ノロウイルス

満田 年宏

東京女子医科大学感染制御科

3. RS ウイルス

宮入 烈

国立成育医療研究センター感染症科

4. インフルエンザ

川口 辰哉

熊本保健科学大学保健科学部医学検査学科

シンポジウム 34

これからのワクチン戦略：誰が、いつ、何を？

2月3日（日） 14：00～15：40

第7会場（ヒルトン東京お台場 1F シリウス）

司会：齋藤 昭彦（新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野）

大石 和徳（国立感染症研究所感染症情報センター）

1. 乳児から小児
中野 貴司
川崎医科大学総合医療センター小児科
2. 免疫不完全宿主
原田 壮平
藤田医科大学医学部感染症科
3. 高齢者
永井 英明
国立病院機構東京病院呼吸器センター
4. 海外渡航者への対応
濱田 篤郎
東京医科大学病院渡航者医療センター

特別シンポジウム

感染対策地域連携における衛生研究所の役割

2月2日（土） 15：00～17：50

第6会場（ヒルトン東京お台場 1F アポロン A）

第1部：現状と医療機関の要望

司会：藤本 修平（東海大学）
木村 聡（昭和大学横浜市北部病院）

1. 地方衛生研究所の現状と役割
鈴木 匡弘
藤田医科大学医学部
2. 衛生研究所に期待する検査
多和田 行男
独立行政法人国立病院機構三重病院
3. 衛生研究所の立場から
奥野 良信
地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所

第2部：衛生研究所における希少感染症検査の現状

司会：柴山 恵吾（国立感染症研究所）
鈴木 匡弘（藤田医科大学）

1. 麻疹検査
安井 善宏
愛知県衛生研究所生物学部ウイルス研究室
2. 地方衛生研究所としての SFTS 検査
御供田 睦代
鹿児島県環境保健センター
3. 蚊媒介ウイルス感染症
高崎 智彦
神奈川県衛生研究所
4. 衛生研究所との連携：地域ネットワーク活性化の方策として 下痢原性細菌の検査
小西 典子
東京都健康安全研究センター微生物部

ICD 講習会

AMR 対策アクションプランが求める微生物検査

2月3日(日) 16:00~17:30

第1会場(ヒルトン東京お台場 1F ペガサス C)

司会: 舘田 一博(東邦大学医学部微生物・感染症学講座)
西山 宏幸(日本大学医学部附属板橋病院臨床検査部)

1. 血液培養の再考

大塚 喜人
亀田総合病院臨床検査部

2. POCT (point of care testing) と迅速検査

石和田 稔彦
千葉大学真菌医学研究センター感染症制御分野

3. 遺伝子検査

早川 佳代子
国立国際医療研究センター

4. 薬剤感受性検査

佐々木 雅一
東邦大学医療センター大森病院臨床検査部

平成31年度認定臨床微生物検査技師・ICMT 合同講習会

抗菌薬適正使用を推進するために微生物検査室が提供すべき情報と活動

2月3日(日) 16:00~17:30

第3会場(ヒルトン東京お台場 1F ペガサス A)

司会: 長沢 光章(国際医療福祉大学成田保健医療学部医学検査学科)
三澤 成毅(順天堂大学医学部附属順天堂医院臨床検査部)

1. 活動紹介1

河口 豊
川崎医科大学附属病院中央検査部

2. 活動紹介2

村田 正太
千葉大学医学部附属病院検査部

3. 活動紹介3

磯崎 綱次
福山市民病院臨床検査科

4. 感染制御を担当する医師から微生物検査室へ期待すること

國島 広之
聖マリアンナ医科大学感染症学講座

ランチョンセミナー 1

AMR 対策の動向と今後～成果指標は達成できるのか！？，多職種連携や新しい武器の重要性～

2月2日（土） 12：10～12：50

第1会場（ヒルトン東京お台場 1F ペガサス C）

司会：門田 淳一（大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座）

演者：泉川 公一（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野／長崎大学病院感染制御教育センター）

共催：MSD 株式会社

ランチョンセミナー 2

カルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌，薬剤感受性検査成績をもとに漏らさず捉える

2月2日（土） 12：10～12：50

第2会場（ヒルトン東京お台場 1F ペガサス B）

司会：一山 智（滋賀県立総合病院）

演者：石井 良和（東邦大学）

共催：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

ランチョンセミナー 3

もう他人事ではない微生物検査の精度管理

2月2日（土） 12：10～12：50

第3会場（ヒルトン東京お台場 1F ペガサス A）

司会：二木 芳人（昭和大学医学部内科学講座臨床感染症学部門）

演者：中村 竜也（京都橘大学健康科学部臨床検査学科）

大塚 喜人（医療法人鉄蕉会亀田総合病院臨床検査部）

共催：バイオメリュー・ジャパン株式会社

ランチョンセミナー 4

抗菌薬適正使用支援：Antimicrobial stewardship における検査の重要性と抗菌薬使用の実際

2月2日（土） 12：10～12：50

第4会場（ヒルトン東京お台場 1F ジュピター）

司会：森屋 恭爾（東京大学大学院医学系研究科病因病理学専攻感染制御学／内科学専攻生体防御感染症学）

演者：関 雅文（東北医科薬科大学医学部感染症学教室／東北医科薬科大学病院感染症内科・感染制御部）

共催：第一三共株式会社

ランチョンセミナー 5

臨床の期待に応える微生物検査室の実現に向けて～Verigene システムの実運用～

2月2日（土） 12：10～12：50

第5会場（ヒルトン東京お台場 1F アポロン B）

司会：大曲 貴夫（国立国際医療研究センター病院）

演者：藤川 康則（大阪市立総合医療センター医療技術部臨床検査部門）

共催：株式会社日立ハイテクノロジーズ

ランチョンセミナー 6

薬剤耐性グラム陰性桿菌の最近の話題～カルバペネマーゼ新規検出法を含めて～

2月2日(土) 12:10～12:50

第6会場(ヒルトン東京お台場 1F アポロンA)

司会: 荒川 宜親(名古屋大学)

演者: 中野 竜一(奈良県立医科大学)

共催: 日水製薬株式会社

ランチョンセミナー 7

カンピロバクター感染症の新しい検査と抗菌薬適正使用

2月2日(土) 12:10～12:50

第7会場(ヒルトン東京お台場 1F シリウス)

司会: 戸塚 恭一(特定医療法人大坪会北多摩病院/東京女子医科大学)

演者: 立川 夏夫(横浜市立市民病院感染症内科)

共催: デンカ生研株式会社

ランチョンセミナー 8

CLSI Up-to-Date

2月2日(土) 12:10～12:50

第8会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンB)

司会: 菅野 治重(公益財団法人鹿島病院)

演者: 大楠 清文(東京医科大学)

共催: 栄研化学株式会社

ランチョンセミナー 9

NTM 症, 特に迅速発育菌に関する最近のトピックスについて

2月2日(土) 12:10～12:50

第9会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオンA)

司会: 長谷川 直樹(慶應義塾大学病院感染制御部)

1. ～検査の立場から～

青野 昭男

公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部

2. ～臨床の立場から～

浅見 貴弘

公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部/慶應義塾大学医学部呼吸器内科

共催: 極東製薬工業株式会社

ランチョンセミナー 10

インフルエンザの診療を考える～バロキサビル positioning を含めて～

2月3日(日) 12:10～12:50

第1会場(ヒルトン東京お台場 1F ペガサスC)

司会: 河野 茂(長崎大学)

演者: 三嶋 廣繁(愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学)

共催: 塩野義製薬株式会社

ランチョンセミナー 11

MRSA 感染症の診断と治療～血液培養陽性症例を中心に適正フローを提言～

2月3日(日) 12:10～12:50

第2会場(ヒルトン東京お台場 1F ペガサス B)

司会: 賀来 満夫(東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座総合感染症学分野/感染制御・検査診断学分野)

演者: 長尾 美紀(京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学)

共催: ベックマン・コールター株式会社

ランチョンセミナー 12

遺伝子学的技術が導く感染症診断の方向性

2月3日(日) 12:10～12:50

第3会場(ヒルトン東京お台場 1F ペガサス A)

司会: 前崎 繁文(埼玉医科大学感染症科・感染制御科)

演者: 森永 芳智(長崎大学大学院医歯薬学研究科病態解析・診断学分野)

共催: 杏林製薬株式会社

ランチョンセミナー 13

AMR 対策として活用可能な迅速診断法の試みについて

2月3日(日) 12:10～12:50

第4会場(ヒルトン東京お台場 1F ジュピター)

司会: 飯沼 由嗣(金沢医科大学)

1. AMR の概要と現場における迅速診断検査の必要性

飯沼 由嗣

金沢医科大学

2. 迅速診断の実現化に向けて UF-5000 が持つ可能性

米谷 三奈

東邦大学

共催: シスメックス株式会社

ランチョンセミナー 14

結核・非結核性抗酸菌症の診断

2月3日(日) 12:10～12:50

第5会場(ヒルトン東京お台場 1F アポロン B)

司会: 菊地 利明(新潟大学)

演者: 佐々木 結花(複十字病院)

共催: 東ソー株式会社

ランチョンセミナー 15

診療と臨床検査の双方向から分析する Point-of-Care Molecular Diagnostics (臨床現場即時遺伝子診断) のコツと落とし穴

2月3日(日) 12:10～12:50

第6会場(ヒルトン東京お台場 1F アポロン A)

司会: 岩田 敏(国立がん研究センター中央病院)

演者: 鈴木 広道(筑波メディカルセンター)

共催: 東洋紡株式会社

ランチョンセミナー 16

MRSA 感染症治療における新たな選択肢

2月3日(日) 12:10~12:50

第7会場(ヒルトン東京お台場 1F シリウス)

司会: 朝野 和典(大阪大学医学部附属病院感染制御部)

演者: 谷口 俊文(千葉大学医学部附属病院感染症内科・感染制御部)

共催: MSD 株式会社

ランチョンセミナー 17

**コリスチン耐性菌・CPE・ESBL 産生菌のリザーバーとしての水系環境のリスクと公衆衛生・医療
関連感染に及ぼす影響**

2月3日(日) 12:10~12:50

第8会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオン B)

司会: 菅井 基行(国立感染症研究所)

演者: 長野 則之(信州大学)

共催: 関東化学株式会社

ランチョンセミナー 18

本格化した日本版 Antimicrobial Stewardship への取り組みと各職種の役割

2月3日(日) 12:10~12:50

第9会場(ヒルトン東京お台場 1F オリオン A)

司会: 八木 哲也(名古屋大学大学院医学系研究科臨床感染制御学分野)

演者: 川口 辰哉(熊本保健科学大学保健科学部医学検査学科)

共催: ファイザー株式会社

アフタヌーンセミナー 1

肺炎診療におけるレジオネラ肺炎診断の重要性～レジオネラ・ニューモフィラ血清型 1 以外によるレジオネラ肺炎の検討～

2月2日(土) 15:00～15:50

第5会場(ヒルトン東京お台場 1F アポロン B)

司会: 齊藤 厚 (サン・レモリハビリ病院)

演者: 伊藤 明広 (倉敷中央病院)

共催: 旭化成ファーマ株式会社

アフタヌーンセミナー 2

呼吸器感染症に対する POC 診断と抗菌薬治療の今後のあり方

2月2日(土) 16:00～16:50

第5会場(ヒルトン東京お台場 1F アポロン B)

司会: 康 東天 (九州大学大学院医学研究院臨床検査医学)

演者: 柳原 克紀 (長崎大学大学院病態解析・診断学分野)

共催: 富士フイルム株式会社/富士フイルム富山化学株式会社/富士フイルムメディカル株式会社

アフタヌーンセミナー 3

マイクロバイーム解析の基礎と応用

2月2日(土) 17:00～17:50

第5会場(ヒルトン東京お台場 1F アポロン B)

司会: 稲松 孝思 (東京都健康長寿医療センター)

演者: 神谷 茂 (杏林大学)

共催: ミヤリサン製薬株式会社